

お知らせ

報道関係各位

2014年3月28日

**ヤナセオートシステムズ、中国エリア3県でDRP業務を開始
－ 損害保険会社の提携工場として事故車修理を受け付け －**

株式会社ヤナセ（社長：井出 健義）が全額出資する、株式会社ヤナセオートシステムズ（社長：菊池 正幸）は、本年4月1日から中国エリア3県（岡山県、広島県、山口県）のDRP業務を開始します。

DRP（Direct Repair Program ダイレクト・リペア・プログラム）とは、契約者の事故発生の際に損害保険会社が認定した提携修理工場に事故車両を誘導する仕組みです。このプログラムにより、損害保険会社は契約者の信頼性を高めてCS向上を図ります。また契約者は、代車の提供や車両の引き取り・納車といった利便性とメリットが享受できます。

ヤナセは、2003年に「YANASE The Bodyshop Network」（ヤナセ ザ・ボディショップ ネットワーク）を発足してDRP事業に参入。現在は、ヤナセオートシステムズが、損害保険会社や損害保険代理店の提携工場として、事故車の修理を行っています。ネットワーク発足から10年が経過した現在、保険業界での知名度の高まりを受け、紹介台数は増加傾向にあり、展開エリアは34都道府県、加盟96工場に拡大中です。このうち、新たにDRP業務を開始する中国エリアは、中国コントロールセンターが担当。自社内製工場と加盟8工場体制で運用を開始します。

ヤナセオートシステムズは、ヤナセの輸入車部品用品卸売事業を分社化し、2007年に株式会社ヤナセオートパーツとして発足。2011年にヤナセのBP事業を統合して現在の社名に変更しました。ヤナセグループのBP事業、タイヤ部門、カーケア部門と部品用品卸売事業を所管し、北海道から福岡県まで全国9カ所の直営BP工場（札幌、仙台、三郷、東京、横浜、小牧、茨木、岡山、福岡）と、5カ所のエリアセンター（首都圏第一・第二、名古屋、関西、九州）を展開しています。

BP事業については、直営BP工場および同社認定の協力工場で、全国のヤナセネットワークに入庫された事故車両の修理を行っています。また、高難度修理の対応力が評価され、ヤナセグループ取り扱いブランド以外の輸入車各メーカーから、認定工場資格も取得しています。今後も、輸入車事故修理のプロフェッショナルとして、損害保険会社、ご契約のお客さま双方にご満足いただける高品質で安全・安心な修理を提供することで、DRP事業の拡大を図ります。

※BP(Body Repair & Paintingの略、車両板金塗装)

中国コントロールセンター/BPセンター岡山 概要	
担当エリア	岡山県、広島県、山口県
所在地	〒703-8213 岡山県岡山市東区藤井 111-2
連絡先	TEL:086-279-1004/FAX:086-279-1730
責任者	谷口 晃(所長)
社員数	9名(2014年3月1日現在)



株式会社ヤナセオートシステムズ 概要	
本社	〒105-8575 東京都港区芝浦 1-6-38
代表者	取締役社長 菊池 正幸
設立	2011年4月(株式会社ヤナセオートシステムズとして)
資本金	8千万円
社員数	323名(2014年3月1日現在)